

浴風会

10 月号

令和元年 10 月 1 日発行
 【発行者】〒168-8510
 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
 社会福祉法人 浴風会
 京極 高宣
 TEL (代表) 03-3334-2101
<http://www.yokufukai.or.jp/>
 【編集者】露口 長
 【印刷所】株式会社サイド・ビー



各園の敬老会や秋祭りに、さざんか連(阿波踊り)が慰問していただきました。

地域共生社会の実現に向けて

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

副会長 古都 賢一



本年九月から、社会福祉法人浴風会評議員に選任頂きました、全国社会福祉協議会副会長の古都です。どうぞよろしくお願いいたします。

浴風会は、戦前から生活上の困難を抱えた高齢者の方々に幅広い救済活動が続けてこれ、戦後の新たな社会福祉制度の下でも社会福祉法人として高齢者分野の社会福祉事業の担い手として活躍してこられました。

平成の時代には、認知症介護研究研修の一翼を担うなど、社会環境の変化と共に変容を続ける福祉問題に対して積極的に取り組んでおられます。令和七年には創立百周年を迎えられると聞きしており、地域の、日本の、福祉の牽引役の一員であったことに深く敬意を表したいと思います。

同様に、全国社会福祉協議会は、渋沢栄一翁が会長

を務められた中央慈善協会設立から今年で創立百一十周年を迎えます。当協議会では、今日まで多くの先達が日本の福祉活動の発展に尽力されてこられたと思います。私も身を引き締め、浴風会を始めとする多様な福祉事業者、福祉活動者、地域住民の方々などと共に、福祉の発展に尽くして参りたいと思います。

さて、政府は「地域共生社会」の実現を目指しています。言い換えるならば、誰もが地域の福祉の問題に向き合い、相互に支え合い、解決していくことで住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を創っていくというものとします。その実現に当たっては、戦後社会福祉の主たる担い手である社会福祉法人、社会福祉協議会が、その培ってきた専門機能を地域に展開し、多様な団体・機関、地域住民

と連携・協働して、自ら率先してその実現に取り組むことが大切であると思います。

これからも、人口構造、産業構造、地域社会、国民意識などの変化はますます加速し、日本の社会では引き続き新たな福祉問題が生じていくでしょう。地域の多様な福祉問題に正面から向き合い、その解決の核となっていく存在が求められていると思います。近年の社会福祉法人制度改革は、私たち社会福祉法人、社会福祉協議会に地域の多様な福祉問題解決の核となり、貢献することを求めているのではないのでしょうか。

福祉実践の現場で先頭を歩まれる浴風会の評議員としてしっかりと学ばせて頂き、共に地域共生社会の実現に向けて努力して参りたいと思います。重ねてよろしくお願いいたします。

(浴風会評議員)

悉皆研修

法人理念の実現を目指して

研修企画部長 宮島 敏



一、キャリアパスとしての悉皆研修

平成26年度、医師を除く全職種対象の悉皆研修が試行され、翌27年度より5段階プログラムⅡ新任(新年度)、フォローアップ(半年後)、2年目(半年後)、中堅Ⅰ期(4～5年目)、中堅Ⅱ期(8～10年目)Ⅱが正式に始まりました。

二、浴風会の基本理念、職員の6つの信条を受けとめる研修

そもそも福祉職場での職員研修が本格化したのは、平成5年の厚生大臣告示「福祉人材確保指針」を受けた翌年の全社協『福祉の「職場研修」マニュアル』に遡り、そこで掲げられた目標は専門性と共に組織性を高めることでした。

その後の職員研修は一般的に技能・技術に直結する知識に重点を置く傾向にあり、本会においても各事業所で専門性の向上を目指す高度な研修が取り組まれてきました。平成26年度の本部研修部門の改組(研修企画室↓研修企画部)を契機に、組織性の向上を主たるテーマとする悉皆研修が立ち上がりました。

ちなみに平成27年、全国社会福祉施設経営者協議会が社会福祉法人の果たす使命(社会的責任)における重点課題について、①サービスの質の向上、②公益的取組の推進、③総合的な人材マネジメントの実現、④組織統治の確立、を『社会福祉法人アクションプラン2015』で掲げたことで、くしくも本会の悉皆研修がその範疇に収まることになりました。

社会福祉法の改正以降、研修請負の営業が頻繁に入りましたが、職員研修たるもの法人の基本理念、職員の6つの信条に即した職員養成の目的に見合うものであるべきでしょう。そのためこの悉皆研修は中堅以上の幹部職員の育成も兼ねて、受講する職員も執行する職員も共に内部職員による研修体系になりました。

三、悉皆研修の構造

悉皆研修の目的は、職員の経験値の違い(複数の視点)を尊重し交流することで職員の資質能力を刺激し、3つの能力Ⅱ①言語・知識・情報・技術等を相互作用的に用いる、②多様な集団で交流する、③自律的に活動するⅡの醸成促進とそれを通じて前述『アクションプラン』の重点課題の実現を図るものです。

そのために講義と演習を組み合わせ、演習では学習を補助するファシリテーター(職員)を配置し、学習法としてアクティブ・ラーニングを用います。そしてその構成は、法人職員の共通理解、目標管理、業務遂行技術、自己覚知、仲間づくりの5領域について、それぞれ5段階のプログラムを通じて積み上げていくものです。

また学びのプロセスは、成長期の促進を目的に一齐に標準化した課題を提供する教育学的

(子ども十指導者)とは異なり、多種多様で違いがある大人の更なる成長を促すために日常的な業務に基づく課題を提供する成人教育学(成人十導く)としました。その結果、学習グループの構成メンバーの経験値によって創り上げていくプロセスが異なることから、分かち合いやふりかえり等を介した自らの確認と、職場における育成的確認が重視されることになりました。

四、現段階での整理

発足以降、毎年160名前後の職員が順次該当する時期に受講し、今年度で6年目を迎えます。一昨年度から独自に作成したルーブリックによる評価で職員の自己評価を各段階ではじめた結果、フォローアップと2年目の半年間で同一職員の2割余の自己評価が1ランク向上したという結果が出ました。また外部の有力な団体にも協力していただいた結果を比べると、本会と遜色がないことが分かりました。

一方で中堅Ⅱ期は中堅Ⅰ期より対象者が半減しています。職員の離職防止は重要で、その要因分析については喫緊に取り組む必要があります。研修サイドでは、5段階のプログラムでユニットになることをふまえて、中堅Ⅰ期からⅡ期までの間(4年前後)の繋ぎ研修の新設か、むしろ間隔を空けずに修了年を早めるのかについて検討していますが、後者が有力となりました。



第8回

知る！見る！体験する！交流する！

浴風会つながるフェスタ

10月19日(土) 会場:社会福祉法人 浴風会
10:00~16:00 入場無料 / 雨天決行

最新情報が学べる講座・浴風会見学ツアー

10:00~10:50【東京センター】**先着順100名**

●みまもりあいプロジェクトのご紹介

～こどもも大人も認知症があってもなくても
みまもりあえる文化を育もう～

かくれんぼ
スタンプラ
リーの説明も
あります

10:30~12:00【第三南陽園】**要申込定員20名**

●認知症サポーター養成講座

修了するとサポーター
の印、オレンジリングが
もらえます

11:10~12:40【東京センター】**要申込定員30名**

●今日から実践！家庭でできるスキンケアセミナー

11:00/13:00【礼拝堂前集合・本館】**要申込定員各50名**

●浴風会本館歴史ツアー

ツアーガイドがご紹介

13:00/14:30 所要時間60分【病院1階】**先着順各30名**

●ペッパーと学ぶ身体と脳の健康づくり



ソフトバンクロボティクスのPepperを活用

13:30/14:30 所要時間30分【病院1階】**先着順各10名**

●手作りアロマ教室

アロマスプレーや芳香剤が作れます

13:30~14:30【東京センター】**先着順100名**

●高齢者の運転セミナー



14:30~14:50【東京センター】

●認知症川柳表彰式

川柳募集中！

14:00/ 14:30【病院】**要申込定員各15名**

●筋力測定＆病院リハビリ室見学ツアー

模擬店・ひまわりカフェ

・活アワビ

・肉まん

・芋煮

・わたあめ

・フランクフルト

・チョコバナナ

・ゲゲゲの鬼太郎妖怪焼き

・福祉作業所による販売など

吉祥寺で行列ができるお菓子の専
門学校とのコラボ！話題のお菓
子・手作りピザ販売！

第三南陽園
中庭ひまわり
カフェでは手
作りパンも販
売します

食育教育・ワークショップ

10:00~16:00

・ハンカチアート

・著名人になろう！

・お箸の持ち方教室

・ワークショップ

「フルーツティーをつくろう！」

(数量限定50名)

二葉栄養専門学校、
二葉製菓学校の協力

13:30~15:00

・シュロの葉でバッタを作ろう！

子どもから大人まで楽しく交流！

体験

11:00~13:00【外会場】

●かくれんぼスタンプラリー

困っているお年寄りや子どもを
万が一の際に見守りあえる街を
つくろう！みまもりあいアプリを
ダウンロードし、スタンプラリーで
見守りを体験！スタンプが揃った
らお菓子(先着30名)をプレゼント

10:00~13:00【外会場】

●ニュースポーツ体験

ペットボトルボリング・ストラックアウト・テニスリフティン
グ&ボレー

10:30~12:30【コミュニティホール】

●ボッチャ・ダーツ体験

ボッチャ集合 10:20



アタマとからだ
を共に動かそう
レクリエーション
スポーツ体験会

13:30~14:15【コミュニティホール】

●太極拳体験

14:20~14:50【コミュニティホール】

●コーラス (プリムラ)

15:00~【コミュニティホール】

●なみすけナミーじゃんけん大会

優勝者1万円の図書券
準優勝5千円の図書券
小学生以下先着100名
に参加賞があります

Caféオレンジリボンウッド



11:30/14:00【本館】

井の頭管弦楽団演奏会

14:30【本館】

ウエストサイドバンド演奏

生演奏を聴きながら永福学園生徒さん
が淹れるコーヒーでホッと一息。
福祉作業所によるパン、手作り小物な
ど販売します！

将棋がさせるコーナーもあります！

中 庭

介護福祉関連 企業展示

10:00~小学生チアダンス

(TAKANIチア)

11:00~小学生ジャズダンス

(smile girls)

12:30~阿波踊り(やっここ連)

13:30~和太鼓(高井戸こだま会)

10:00~16:00【外会場】

・介護・健康・住まい、
様々な企業が出展
5カ所まわると粗品をプレゼント

バザー・フリマ

健康づくり 測定しよう！

10:00~16:00【ケアハウス前】

・富士見丘中学校の生徒さんと
ケアハウスの利用者さんが一緒に、
手作り品などを販売します。
・フリマ出店者募集中(1区画500円)

10:00~16:00【東京センター1階】

血管年齢 骨密度測定
肌年齢 下肢筋力測定
ロコモスキャン 健康相談

●浴風会病院6階休憩スペース 飲食持ちこみ可 (11:00~15:00)●

主催：社会福祉法人 浴風会

お問合お申込み・浴風会ケアスクール

杉並区高井戸西1-12-1

☎03-3334-2149/fax03-3334-2694

E-mail:kenshuu@yokufuukai.or.jp

浴風会の動き (9月)



台風一過 (9月9日)

【本部事務局】

11日 古都賢一氏評議員就任。
11日 経営協全国大会 (鳥取市)。
13日 京極理事長、浅川本部事務局長、宮本病院事務局参事。
13日 MSW学会 (神戸市)。参加者 京極理事長、君島病院事務局長。
21日 「第4回理事会」開催 (書面決議)。承認事項 就業規則等の改正について。
25日 「乙女地蔵法要」開催。
29日 30日 みんなの音楽会 (コミュニティホール)。
30日 アクティブ福祉イン東京2019 (於: 新宿京王プラザホテル)。南陽園、第二南陽園、第三南陽園口演発表。(浅井)

浴風会ケアスクール

Caféオレンジリボンウッド

3日 介護職員初任者研修13期生スクーリング毎週火曜日。受講生15名。講師・吉川和徳氏、八幡茂子氏、越智佳子氏。
5日 介護福祉士実務者研修10期生11期生スクーリング毎週木曜日。受講生22名。講師・瀧浪美也子氏、大津陽子氏、高橋松上、曾根、宮田。
6日 豊島区受託講座「認知症の方の家族の支援」高齢者の虐待の理解と対応含む」講師・服部校長。参加者35名。

9日 cafeオレンジリボンウッド開店。来店者37名。

11日 「よくふう語ろう会」参加者22名。

17日 特別区職員互助組合介護講座「穏やかな生活を送るための介護のいろは、認知症セミナー」講師・服部。参加者78名。

18日 外国人向け介護職員初任者研修「介護のための日本語(補講)」。受講生2名。講師・にほんこの会。

20日 豊島区受託講座「否定的なクライエントの介入の仕方」講師・須藤昌寛氏。参加者34名。

27日 「よくふう学ぼう会」「人生100時代! 財産の名義人がもしもの時の備えは万全ですか?」講師・太田秀隆氏。参加者22名。

cafeオレンジリボンウッド開店。来店者56名。10月は25日(金)11時30分、15時 本館1階第三会議室にて開店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)



12日 13日の中秋の名月にちなみ、お月見団子を作りました。粉を練るのが少し大変でしたが、水加減を調整しながら満月の様なお団子を作りました。

16日 大ホールで「敬老会」を開催。式典では百寿、卒寿、米寿、喜寿を迎えられた方々の表彰を行いました。百寿を迎えられた方へは内閣総理大臣、東京都知事からの記念品・祝状を贈呈し長寿のお祝



いを行いました。表彰、記念写真撮影後は美咲有里様による演歌懐メロ歌謡ショーをお楽しみいただきました。また式典の最後には「浴風園の一年を振り返って」のスライドを上映し、この一年間の思い出を振り返りました。大きな拍手の中、敬老会の式典は終了しました。(阿南)

松風園 (軽費老人ホーム)

13日 「敬老の式典」開催。今年は白寿を迎えられた方がお一人、米寿、喜寿を迎えられた方を含め16名の方に記念品をお渡ししました。記念撮影をし、園長より皆様にお祝いの言葉を申し上げた後は、職員も共にテーブルにつき、乾杯をし松花堂弁当でご長寿をお祝いしました。食事の後、浴風会から皆様にお渡ししたお菓子を大切に持ち返られました。お元気でご長寿を迎えられた皆様、おめでとうございます。



7・28日 「家族・保証人懇談会」を開催。今年度も棟別を基本として3日間にわたる開催として、多数のご家族がご参加くださいました。例年通り、一年間の園での様子をご報告したほか、機能訓練の体験なども行い、リラックスした雰囲気の中でご報告をいたしました。終了後には事前に希望されたご家族に、食堂にて利用者の方と一緒に昼食を召し上がっていただきました。(宮中)

浴風会ケアハウス

8月28日 高井戸西児童館で料理教室「つながるクッキング」を開催。利用者3名が講師となつて、味噌汁の出汁の取り方、そぼろ丼の作り方を児童の皆様にお教えしました。

11日 「敬老会」開催。午前中にシヤ

ンソンショーと、昼食にお祝い膳をご用意しました。

20日 歩こう会の特別編①「杉並の豆知識講座」開催。

27日 歩こう会の特別編②「荻窪三庭園めぐり」開催。

10月開催のつながるフェスタに向け、バザーの準備で小物作りを行なっています。(尾滝)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

8月25日 晴天の中「南陽園祭り」を開催。1階ではお好み焼きや焼きそば、かき氷などの模擬店を行い、午後はギター演奏やハーモニカ演奏、高井戸こだま会による和太鼓の演奏があり、ご利用者のみなさま、模擬店や催し物を楽しまれました。

16日 「敬老会」。午前は各フロアで式典を行いました。南陽園の最高齢の方は106歳です。午後はボランティアによるギター演奏や職員によるよさこいソーラン等の催し物で楽しめました。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

「敬老の日」のお祝い行事の一つとして、杉並弦楽四重奏の四名の皆様方が、南陽園の一階ロビーにて演奏してくださいました。

デイサービス利用の方々のほか、南陽園のご利用者、当日ロビーを利用されていた近隣の方も一緒に演奏を楽しみました。

モーツァルトやボッケリーニなどのクラシックな曲目のほかに「紅葉」「いつでも夢を」や「旅愁」など、なじみのある曲も披露され、ラストには、「川の流れるように」を四重奏を伴奏

に全員で歌うなど、とても贅沢なひとときを過ごしました。(鶴間)

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。

電話 03-3334-2743 (鶴間・工藤)

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

9 月も、高混クラブ、折り紙クラブ、アートセラピー、フラワーアレンジメント等たくさんの方のボランティアの方に来ていただき、素敵な歌や作品づくりを一緒にしました。

16 日 「敬老祝い会」を開催。最高年齢の 105 歳の方を始め、100 歳を超えられている方が 8 名いらっしゃいます。午後のさざんか連の阿波踊りでは、涙を流しながらご覧になられていた方や一緒に踊られる方もいらっしゃいました。

第二南陽園在宅サービスセンター (通所介護、介護予防通所介護)

2 日 「陶芸教室」を開催。自由な創作の時間です。

16 日 「敬老週間」を開催。さざんか連の皆様の力強い阿波踊りを観賞する時間になりました。

25 日 毎回大好評の「ピアノコンサート」を開催。(限本)

芸術の秋の幕開けです。

★ご見学のお申し込みやデイサービスへのお問い合わせは随時受け付けています。

電話 03-3334-2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

7 日 「敬老のお祝い」開催。喜寿、傘寿、



米寿、卒寿、白寿、長寿(100 歳以上の方)のお祝いを各フロアにて行いました。園長よりお祝いの挨拶と記念の花束を贈らせていただきました。

16 日 「秋祭り」開催。午前中はあいにくの雨でしたが、多くのご利用者、ご家族に参加していただき大賑わいでした。フラダンスや高井戸こたま会による和太鼓演奏、さざんか連による阿波踊りで大変盛り上がり、「また来年もやってください」と早くもリクエストがありました。(佐々木)

グループホームひまわり

7 日 「家族会と敬老祝い会」を開催。14 家族 21 名のご家族が参加され、総勢 50 名でのお祝い会。お祝い膳を食べながら、あちら、こちらで笑い声が聞かれていました。最後は「皆様、元気で頑張りましょう! エイエイオー!」と百寿を迎えられたご利用者の言葉で締めくくられ、とても賑やかな 1 日となりました。



16 日 秋祭り。焼きそば、たこ焼き、焼き鳥、カキ氷、「美味しそうね。全部食べたいの?」と、お好みものを選んで屋台に買物に行かれていました。ヨーヨーや射的、くじ引きには「当たった! 懐かしいわ!」と楽しまれていました。フラダンスや阿波踊り、太鼓の催しものでは、「ナイスブラボー!」といったもの掛け声とともに踊り子の方に誘われて、手をとって一緒に踊りました。「疲れたけど、楽しかった!」と笑顔でお話をされていました。(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア 24 高井戸

14 日 「RUN 伴すぎなみ」開催。昨年からは杉並区でも取り組みを始め、今年は昨年を上回る参加者があり、少しずつ輪が広がっています。

「RUN 伴すぎなみ」は、『認知症の人や障がい者や高齢者とかかわりながら、個人が様々な活動ができる社会を目指します。これが私たちの VISION です。』とあります。実行委員会も有志の方々で組織され、見送りだけの方や途中参加、中抜け等あり、当事者も含め、子供から高齢者まで様々な方々が様々な形で参加しました。また、特に高井戸コースでは、事業所等の協力で、昼休憩の場所の提供や軽食の差し入れ等があり、皆さんと交流しながら楽しく区役所まで歩く事ができ、つながりができました。(尾関)



杉並区地域包括支援センター
ケア 24 高井戸
電話 03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院



インフルエンザ予防接種について、本年度インフルエンザワクチンの入荷時期は、10 月中旬以降の見込みとなっております。予防接種開始時期が確定次第、浴風会病院ホームページ等でお知らせいたします。

お電話でのお問い合わせは、月曜(金曜(祝日を除く))午前 9 時から午後

5 時までです。(中澤)

予約電話 浴風会病院(代表)
電話 03-3332-6511

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

9 月 14 日 デイケアで「敬老を祝う」一週間としました。白寿・傘寿などの節目を迎えられたご利用者に手作りの感謝状をお渡ししました。おやつに紅白羊羹を、13 日には松花堂弁当を召し上がっていただきました。

16 日 2 階フロアでも敬老会を行いました。同じく節目を迎えられた方 26 名のご利用者に花束と感謝状をお渡しし、職員含めて皆さんでお祝いをしました。

2 階フロアでは毎月恒例となっているカラオケ(木曜日)、書道クラブ、折り紙クラブ、ボランティアによる音楽コンサートも開催しております。(森屋)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

2 日 東京センター運営会議

9 日 認知症ケアセミナー 台風の影響で 230 名申込のところ 100 名参加

13 日 老健事業委員会(ステーションコンファレンス東京)

17 日 ひもとときシート「アシスト」の使い方・活かし方を学ぶ研修 20 名受講

17 日 18 日 認知症地域支援推進員研修(新任者) 研修会場田町 310 名受講

19 日 20 日 認知症地域支援推進員研修(現任者) 研修会場田町 172 名受講

20 日 行政担当者セミナー 38 名参加(富島)



つなげたい浴風会の今⑧

第三南陽園

「地域のイベントを担う」

一員の実感を目指して」

副主任機能訓練指導員 實川 拓

第三南陽園には、1階にレストランや売店、理容室や美容室、ピロティーや中庭、宿泊室等があり、ご利用者やご家族のみならず、地域の方々にも気軽に足を運んでご利用いただける設備環境があります。ご活用下さい。

そうした園には、年間延べ3千人を超える地域のボランティアの方々がおいでくださり、ご利用者の日々の楽しみのある生活を支えてくださっています。



また、ケアマネジャーの方々との協力で、年延べ1万人を超える地域の方々にショートステイもご利用いただいております。住み慣れた地域で在宅生活を続ける高齢者の方々にとっても更にお役に立つ施設になりたいと考えています。

そんな中で、園では、ご利用者に、住み慣れた地域のイベントを担う一員をダイレクトに実感してもらう新しい試みを始めました。阿佐ヶ谷の七夕祭りへの「はりぼて」の出展です。

阿佐ヶ谷の七夕祭りは、阿佐ヶ谷駅南口の商店街を中心に毎年8月初旬に開催され、今年で66回目を迎え、5日間で延べ80万人ほどが訪れる大イベントです。商店街のアーケードは様々な七夕飾りで彩られ、中でも目を引くのは大小さまざまな「はりぼて」です。

園で、はりぼての一般応募に申し込み、ご利用者とともに製作し、昨年は「天の川の金魚」、今年は鮭

をくわえた大きな熊の力作



施設概要 第三南陽園

類型：特別養護老人ホーム
(従来型)

設立：2002年

定員：222名

(内ショートステイ15名)

対象：介護が必要なご利用者に日常生活上の介護を提供する施設です。

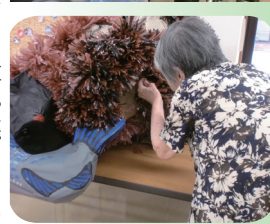
入所…原則、要介護度3以上の方

ショートステイ…要支援、要介護認定を受けている方

今後、ご利用者が地域と繋がり、そして地域のイベントを担っている一員の証となるような試みを広げていきたいと考えています。



七夕祭り期間中、ご利用者とともにその熊のはりぼてを見に行きました。商店街の店主から「あれは皆さんが作ったんですね。大変良くできていますよ」という声が多く聞かれていますよ。」と話がありました。ご利用者の喜ぶ表情や言葉などから、地域のイベントに参加している喜びを実感することができました。



「天の川を溯上する鮭vs熊」を出展しました。製作にあたっては、商店街主催の説明会に職員が参加し骨組みの構成や紙の貼り方などを教わり、そこからご利用者が行える作業を見出し、約1ヶ月半の期間をかけて製作にあたりました。

編集後記

10月といえば55年前の東京オリンピックを思い出します。我が国が戦後復興を世界に示した日でした。当時筆者は開通したばかりの新幹線で大阪に出張し、帰京した日が開会式当日でした。午後2時からの開会式はまずラジオで聞いた覚えがあります。そして、帰宅後、テレビでハイライトを見ました。古関裕而作曲の入場行進のマーチとともに、ラジオでは鈴木文弥アナ、テレビでは北出アナの名実況が今も耳に残っています。日本女子バレーやアベベ選手の優勝したマラソンをはじめ、多くの名勝負がありました。それはテレビで見れば悔やんでいるのは、サッカーの五輪切符を職場から紹介されたとき買わなかったことです。当時、サッカーは国民に馴染みがなく観客動員が必要だったのです。ともかく、このオリンピック開会式の日が昭和41年から祝日として「体育の日」に(平成12年より10月の第2月曜日)、そして来年の東京オリンピックを機に「スポーツの日」に名称が改められます。皆さん、来年の東京オリンピックの券は確保できましたか。

(C)

ご芳志

令和元年 8月16日から 9月15日

ご芳情をいただきました。

ありがとうございました。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

http://www.yokufukai.or.jp/